

見学会での感想

①

全国の美術館、博物館など他の前川建築が存続するなか、東京の中心、丸の内の一等地にあつてのオフィスビルは大変貴重な存在であることをあらためて感じました。また計画から竣工に至るまで政治行政、世論を巻き込んだ稀有な事例としても時代をランドマークする重要な建物であると理解しています。そして時代とともに林立する容積至上の高層建築のなか、相対的に小さくなっていくこのビルの価値を理解しこれまで大切に使用されてきた方々にも敬意を払います。老朽化、面積効率など様々な角度から検討され解体やむなしとなったことは想像に余りませんが、人口減、アフターコロナあるいは多様性の現代においては、古いこと、小さいことが数値化できない価値をもち、かえっては経済的な寄与もありうると思います。もし取り壊しが少し前の決断であったなら、今一度延期や保留も選択肢にあげてくださりはしないかと、一市民として願ってやみません。

宮川 敦司

②

ここにきて時代の転換期に入っているのを実感します。

歴史的に見ても、景観、デザイン面で見ても、後世に繋げるビルの存在意義がある様に思えました。丸の内の昨今のビルはどれも同じで無機質です。解体してしまうと、残しておけば良かったと後悔する建築物だと思いました。何とか、存続出来る方向に検討していただけないでしょうか？

秋山 容子

③

50年、100年というスパンで考えた時、東京海上日動ビルを建て替えることが、現在の建物を壊すことが、本当に意義のあることなのか、令和の現在を生きる者として恥ずかしい気持ちでもあります。

正田 徹雄

④

皇居側から常に目に入ったあの赤いビル、大手町にあつて当たり前だと思っていただけに、本当になくなるのは残念です。しかも、ビルのエントランス部分だけしか見ていませんが、メンテナンスをしながら大切に使われていたようで、全く老朽化など感じさせないだけに、本当に解体されてしまうのかと、今でも信じられません。

いつになったら日本は経済合理性だけではない、文化面の豊かさが実現されるのか、、、豊かになってもいつまでも経済合理性のみしか見ていない点は、本当に情けない限りだと感じます。

齋藤 遼太

⑤

かつて勤務した経験のある思い出のあるビルです。

東京駅から行幸通りを皇居に向かう方向にある美しい佇まいの品格ある東京海上ビルは、別格の感がありました。建築は貴重な文化遺産であるにもかかわらず、社員はその大切さが分かっていない(いなかった)と思います。

大変残念です。美しい東京の大切な建築の一つであったビルを失ったことの重大さに気づく時が、必ず来るのではないのでしょうか。

日笠幸代